

ご意見の要旨及び、岡山 ESD 推進協議会の考え方

番号	内容	ご意見の要旨	協議会の考え方
1	全般	<p>「持続可能な開発」が、企業の環境マネジメント活動・CSR 活動や、地域コミュニティの活動といった自主性に委ねられ少し物足りない印象を受ける。</p> <p>ユネスコ憲章が示すように、偏見や価値観の違いからお互いの尊厳・尊重を損なうような小さな出来事は、わが国でも日常茶飯事である。東日本大震災以降、県民性・価値観の違いが摩擦を起こし、移住者が「新参者」として扱われ住みにくくなってしまうという悲しい事例を目の当たりにしたことがあります。</p> <p>岡山に移住者が定着し、岡山を心から好きになり、岡山と生きて、骨を埋めてくれるような街・人でいられるよう、多様な価値観を受け入れ、前進する力に変えられるようなマインドづくりを、岡山に住むすべての人を対象にして力を入れていくのも、ESD ではないかと思う。</p> <p>多様な価値観をお互いに尊重しあい、止揚して、お互いがさらに笑顔になれるようベクトルを合わせ、自分ができることをして、心から住んでいて幸せだと言える街づくりに共に取り組み、その姿を知る人々から「岡山の人って、みんなそうだよ」と言われるようになれば、それは人類の知的及び精神的連帯の上に築かれる平和の一モデルとなり得るのではないかと。</p> <p>無知・偏見・価値観の違いなどに悩む人々が、自分を大切にすることを学び、「自分を大切にできれば、人も大切にできる」と知り、人間関係を構築するし、その人間関係でもって、共有する問題をともに解決し、お互いの自己実現に踏み出していけるような、前向きなマインドと実行力を持った人づくりと、そんな人たちを応援し支えられるような街づくり・環境づくりを目指すといった、大方針があるとよい。</p>	<p>◎ESD では、持続可能な社会を実現するうえでの価値観として、「人間の尊重」「多様性の尊重」「非排他性」「機会均等」「環境の尊重」といった価値観を培うことが大切とされています。</p> <p>いただいた意見は、今後の ESD プロジェクトの推進にあたって参考とさせていただきます。</p>
2	7. プロジェクトの推進	<p>◎実施する具体的な事業計画も含めて明記を。</p> <p>◎抽象的な表現にとどまらず、今後実施する工程を具体化させること</p> <p>◎「毎年、運営委員会による進行管理を行う」とあるが、各年定量的な評価を行い、効果を検証できるように。</p> <p>◎評価をふまえた工程の見直しを柔軟に図ること。</p>	<p>◎本基本構想は取組の枠組みと方向性を示したものであり、個別の取組については、別途、事業計画と年次工程を策定します。定量的な評価については、各年把握と中間、最終年に評価するものと分けての管理を運営委員会において行うこととしています。工程の見直しは柔軟な対応を考えています。</p>

	6. 指標及び5年後の達成目標	◎「めざすべき地域の姿」の(1)に『多くの市民が理解し、行動しています』とあるが「6.指標及び5年後の達成目標」の「⑥ 岡山市市民意識調査におけるESD活動の認知度(%)」が最終年30%となっており、この数値では『多くの市民が理解し、行動しています』とはいえないのではないかと。	◎世界会議でのキャンペーンによって、現在の認知度は15.4%となったものの、今後、「認知度30%」という数字は高い目標と考えております。2015年度の市民意識調査の結果を踏まえ、達成目標を検討します。
	6. 指標及び5年後の達成目標	◎実際に市民への「ESD活動の認知度」を上げるには、「6.指標及び5年後の達成目標」の「ESDに関する公民館講座や行事」に参加いただくことが最も重要なことと思えますが、指標は「毎年、岡山市内全公民館で複数実施し、その内容の充実をはかります。」と具体的な指標が明記されていない。「ESDに関する講座や行事」の位置付けや、主催者による普及方法を規定し、推進することの必要性を感じる。	◎公民館は岡山市内の地域コミュニティにおけるESD活動の拠点として、今後ともESDの推進に取り組めます。現時点では具体的な指標が入っていませんが、今後、岡山市の事業計画を固める中で、具体的な指標を盛り込んでまいります。
	全般	◎「岡山市協働のまちづくり条例」見直しとの整合性・協調を図ること。	◎市民協働企画総務課(旧安全安氏ネットワーク推進室)とESD推進課(旧ESD推進局)との間で調整を図ります。
	7. プロジェクトの推進に向けて	◎市民に向けた具体的なわかりやすい案内の実施を要望する。特に一般市民が各種情報を得ることのできる仕組みづくりが重要である。	ESD推進における情報発信は重要な取組なので、7.プロジェクトの推進に向けての中に、「的確な情報提供」の項目を追加します。
3	全般	基本構想は良くまとまっているが、具体策に乏しい。スローガンや精神論だけで、持続可能な社会を実現することは不可能に近い。会議の場で画期的なアイデアが出ることは期待できない。「良いアイデア」に耳を傾ける必要がある。 社会の持続可能性を最も阻んでいるのが経済の問題である。資本主義という経済システムは共産主義と同様に持続可能ではない。持続可能な発展は可能かもしれないが、永遠に経済成長し続けるということは不可能。具体的な持続可能な社会システムのアイデアに耳を傾	◎ESD推進にあたっては、様々な主体の参加と、多様な主体間の合意形成と協働が必要と考えています。いただいた意見は、今後のESDプロジェクトの推進にあたっての参考にさせていただきます。

		<p>けることが必要である。</p> <p>例えば、運送会社を1社にすると、配送合理化、ガソリンの消費の抑制、交通渋滞緩和になる。荷主が同じ送料を支払うならば、ドライバーもオペレーターも給料を減らすことなく、労働時間が大幅に減り、より豊かな生活につながるというアイデアがある。</p> <p>この事例のように、資本主義社会での仕事は、熾烈な競争で莫大な資源を使っている。全ての人にセーフティネットを保障した上で、より多く負担する人がより豊かになるしくみにする。</p> <p>もしESDの活動が実り、持続可能な社会が実現できると、その時には、資源の消費量も、環境負荷も現在よりも格段に減っているはずである。</p> <p>人体全体のしくみを手本に、私たちの社会のしくみを「One for all, all for one（個人は全体のために、全体は個人のために）」のしくみができると考えている。</p> <p>プログラミングの視点で考えれば、この社会のしくみは非常に美しくなく、無駄が多い。資本主義というOSは持続可能なものではない。もっとシンプルで美しく、無駄な繰り返しのないシステムが求められる。</p> <p>資本主義から持続可能な経済システムへの移行を革命と考えているのではなく、地道な草の根運動の展開で考えている。</p> <p>フランスの経済学者トマ・ピケティが主張するように、格差は今後ますます拡大していくのではないか。庶民層や貧困層がお互いに助け合うためには、地域通貨のような法定通貨とは違ったポイント通貨的なもので実現できると考える。本来のお金の意味は情報であるはず。膨張し過ぎたお金やそれに伴う無駄な競争や無駄な労働が持続可能な社会を阻んでいると考えられる。私たちはそのような資本主義の暴風雨を緩和することができる助け合いのコミュニティを作りたいと考えている。</p>	
4	5.本プロジェクトの重点的な取組	<p>◎ESD提唱組織であるユネスコがパリに本拠地を置いているフランスについて理解を深める国際理解授業を実施してはどうか。公民館や学校などの公共施設を利用して、フランス文化に深い見識を持つ方を招いた講演会および参加者との交流会を提唱する。</p> <p>◎長期的な目標として、岡山市全体をパリのような多民族が共存する国際都市にさせるまちづくりを提唱する。個人的にフランスとはつながりがあり、必要であればこの提案に協力可能である。</p>	◎重点的な取組として、国連大学の提唱する地域のESD拠点や海外のコミュニティ学習センターとの連携をはかることとしています。いただいた意見は、今後のESDプロジェクトの推進にあたっての参考にさせていただきます。

5	4. 10年間の成果と課題について	<p>◎成果についての所に①「公民館やユネスコスクールなどの地域コミュニティの拠点を核として、学校・地域住民が連携したE S D活動が全市域で推進されています。」とありますが、課題では「学校や公民館などが協働したE S D活動が推進されている地域コミュニティがあるが、一部に限られています。岡山地域全体に広げていく必要があります。」とあります。全市域と岡山地域が同じ意味であるなら整合性がとれず、異なる意味であるなら何を示す物か分かるようにする必要があります。</p> <p>訂正案：「公民館やユネスコスクールなどの地域コミュニティの拠点を核として、学校・地域住民が連携したE S D活動が推進されています。」</p>	◎ご指摘の趣旨をもとに、文章の修正をはかります。
	5. 本プロジェクトの重点取組の⑤<優良事例の顕彰>	◎「取組を手本とした活動が各地で行われるよう制度を整えます」とありますが、「制度」のところを具体的な取組と対応できるよう「仕組み」とする方がよいのではないかと。	◎ご指摘の趣旨をもとに、語句の修正をはかります。
6	7. プロジェクトの推進に向けて全般	◎おかやまE S Dプロジェクトの10年のような、今後10年間(2015年度～2024年)のロードマップがあれば進む道が解りやすい。	◎基本構想をもとに、協議会での議論を経て具体的な事業計画と工程表をまとめていきたいと考えています。
	7. プロジェクトの推進に向けて全般	◎岡山E S D推進協議会のセクションごとの位置づけや役割を明確化したほうが、何を担うグループなのかが明確になり、協力しやすくなるのではないかと。特に部会は新装なので機能するように仕組んでおかないと、部会において動きに格差がでる。	◎部会は、協議会の運営にあたり必要な時に設けるものです。形骸化しないよう、使命や期間を明確にするなど、機能的、かつ、柔軟な運営方法を検討したいと考えています。